

このバージョンの新機能

このトピックでは、以前のバージョンでは使用できなかった、InfoAsset Manager 2020.1 に新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。

時系列データベースストリームのタイムスタンプを動かす新しい時系列式が追加に

新しい時系列式 `TSLAG(input_series, lag_seconds)` が使用可能になりました。この式は、入力データと同じデータポイントを含むデータを構築しますが、指定された秒数だけタイムスタンプを先へシフト（遅延）させます。

マイナスの秒数を指定すると、タイムステップが後方へシフトします。詳細については [Theory of Time Series Expressions](#) トピックをご覧ください。

複数パーツから成る shp ファイルのインポートが改善

複数パーツから成る shp ファイルの インポート が改善されました。

連絡先詳細としてメールアドレスが追加に

プロパティや苦情オブジェクトに対して [連絡先メールアドレス](#) フィールドが追加になりました。詳細については [Customer Complaint Data Fields \(Collection\)](#)、[Customer Complaint Data Fields \(Distribution\)](#)、[Property Data Fields \(Collection\)](#)、[Property Data Fields \(Distribution\)](#) トピックをご覧ください。

SQL Server データベースのインポート/エクスポート

オープンデータインポートセンター や オープンデータエクスポートセンター を使用して SQL Server データベースをインポート/エクスポートすることが可能になりました。

Cloud に保存されたビデオファイルが使用可能に

Secure Access Signature (SAS) 認証方法を使用して Azure Cloud 内の保存されたビデオファイルを開覧したりアップロードしたりすることが可能となりました。ビデオファイルは、CCTV や人口調査オブジェクトの InfoAsset ビデオファイルフィールドや CCTV 調査の詳細タブ、人口調査のその他タブ、あるいは http や https にてファイルパス形式を用いてハイパーリンクフィールドにて指定されていれば、InfoAsset Manager や InfoAsset Online にて閲覧することが可能です。

詳細については [Migrating Survey Videos](#) トピックをご覧ください。

選択リストグリッドビューに「空のタブを表示しない」オプションが追加に

選択リストグリッドビューにて空のタブを非表示にできるようになりました。詳細については [Selection Lists](#) トピックをご覧ください。

EU 標準テキストファイルへの調査データのエクスポート

調査データを EU 標準テキストフォーマットファイルへエクスポートできるようになりました。

浸水や汚濁インシデントがポリゴンジオメトリとして表現可能に

InfoAsset Manager では、浸水や汚濁インシデントはこれまでポイントオブジェクトとして表現されていました。これらのインシデントタイプが拡張され、ポリゴンジオメトリをサポートするようになりました。これにより、浸水や溢水の範囲を定義するエリアを視覚化し分析することが可能となりました。新規ゾーンやエリアをジオプラン上に作成する際に、浸水インシデントや汚濁インシデントをエリアタイプとして設定できるようになっています。浸水インシデントや汚濁インシデントのプロパティシートにはディメンジョンページが追加され、水深、エリア、ボリュームデータの入力が可能です。この機能をサポートする追加データフィールドに関する詳細は [Flooding Incident Data Fields](#) と [Pollution Incident Data Fields](#) をご覧ください。浸水や汚濁インシデントの ベーステーマ には、塗りつぶし色や透過性を定義するための属性が追加になっています。

人孔調査詳細のエクスポート

GeoDatabase へのエクスポート時には、人孔調査の詳細データが Manhole_survey テーブルから独立して Manhole_survey_details テーブルへとエクスポートされるようになりました。

InfoAsset Planner タスクのインポート

InfoAsset Planner の作業発注タスク（InfoAsset Planner の作業発注サブコンポーネント）は、InfoAsset Planner 作業発注から作成/更新された InfoAsset Manager タスクのノートフィールドへインポート可能となりました。インポート後には、ログファイルが生成されます。ログには、データベース内には存在していたものの、InfoAsset Manager によってマッピングされずにインポートされなかった InfoAsset Planner タスクの一覧が含まれます。また、ログファイルには、その他のエラーや警告も含まれます。

選択調査の添付から MSCC XML のインポートが拡張

添付から画像とビデオをインポートできるようになりました。既存の調査から更新するオプションとインポート済み調査を completed とするオプションが追加されています。

作業パッケージスケジュール

スケジュールタスクとしてオブジェクトを作成する際、最初の CCTV 調査やタスクのスケジュールではなく、その作業パッケージのスケジュールが表示されるようになりました。

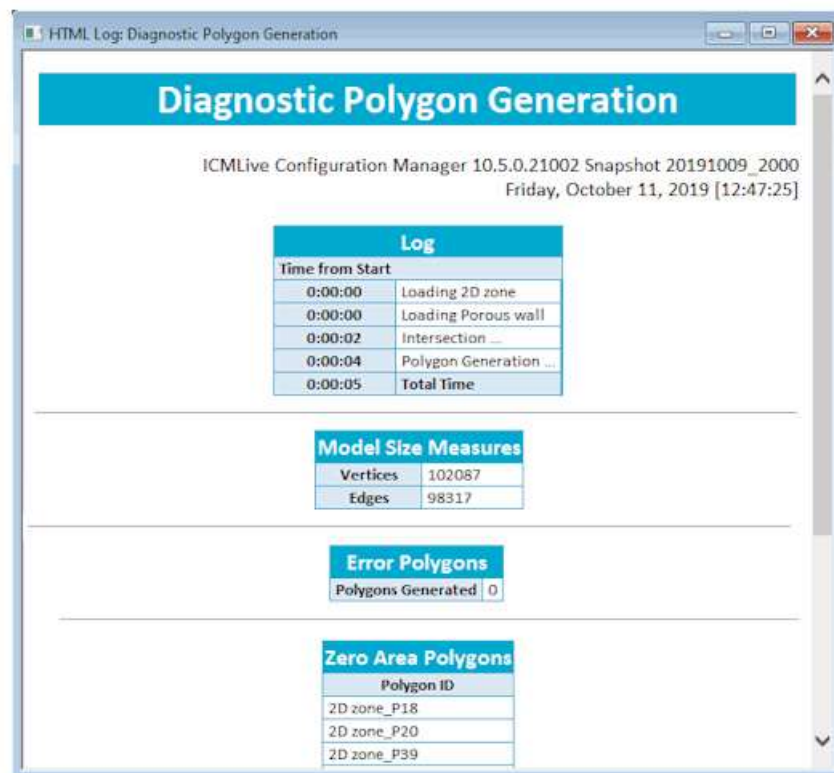
Exchange を使用したダッシュボードのエクスポート

Exchange を使用してダッシュボード (Dashboard.html file) を更新したりエクスポートしたりできるようになりました。詳細については、2019年11月に作成された Exchange.docx にてご覧いただけます。

HTML ログファイルが改善

InfoAsset Manager によって生成される [HTML ログファイル](#) のレイアウトと見た目が改善されました。

診断ポリゴンの作成オプションを使用して生成された ICM ログファイルの例を以下に示します。



Diagnostic Polygon Generation	
ICMLive Configuration Manager 10.5.0.21002 Snapshot 20191009_2000 Friday, October 11, 2019 [12:47:25]	
Log	
Time from Start	
0:00:00	Loading 2D zone
0:00:00	Loading Porous wall
0:00:02	Intersection ...
0:00:04	Polygon Generation ...
0:00:05	Total Time
Model Size Measures	
Vertices	102087
Edges	98317
Error Polygons	
Polygons Generated	0
Zero Area Polygons	
Polygon ID	
2D zone_P18	
2D zone_P20	
2D zone_P39	